

# Port of Hachinohe

No. **7**  
Dec 2002

---Maritime & Trade Report---

- 八戸港東南アジアコンテナ定期航路ミッション2002
- 八戸市産業推進セミナー開催
- 米国メイン州訪問団来社
- 中国東北江南部視察レポート
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 青森県輸入住宅促進協議会ニューズレター

## Hachinohe Port

## 八戸港東南アジアコンテナ定期航路ミッション2002

八戸港国際物流拠点化推進協議会は平成14年11月10日（日）から15日（金）の日程で大河原八戸市助役を団長とするミッションを台湾に派遣しました。

滞在中、一行は台北市において青森県内で多く生産されているりんご・ながいもなどの農産物等に関する商談会及び八戸港をPRするセミナーを開催したほか、中華民国対外貿易発展協会、台北市進出口商業同業公会、微風広場、大立伊勢丹などの貿易促進団体、荷主企業など9団体を訪問するなど、積極的なポートセールスを展開してきました。



## 青森農産物等商談会 及び八戸港セミナー



八戸港国際物流拠点化推進協議会主催による「青森農産物等商談会」が平成14年11月12日（火）、台北市のライライシェルトンホテルで開催され、船社、商社、荷主など約80名の参加者がありました。りんご・ながいも・ゼネラルレクラーク・地酒・珍味などが出品され、活発な商談が行われました。特にりんご・ながいもには強い関心が寄せられました。

また、数社から見積書の提出を求められており、今後、八戸港を利用した貿易拡大が期待されます。

続いて、「八戸港セミナー」が行われ、船社、商社、荷主など約70名が出席しました。青森県県土整備部港湾空港課副参事、横山哲雄氏より、八戸港の施設概要、コンテナ航路を中心とす

るサービス内容や「共同輸送事業」について説明がなされました。

また、PIL社台湾総代理店である東光船務代理股份有限公司の総経理（社長）、張群釗氏より、PIL社の会社概要や情報化への取り組みについて説明をいただきました。

質疑応答では「現在、横浜港に荷揚げし、秋田まで陸送しているが、八戸港で荷揚げすると陸送部分のコストを削減できるので利用を検討したいが、降雪時に陸送が遅れるのではないか」との質問に「八戸地域は降雪量が少なく、降雪時も迅速な融雪・除雪により問題なく陸送できる。また、秋田道の開通によりさらに便利になっている。」との回答をするなど、活発な意見交換が行われました。



## .....Welcome to Hachinohe.....

### 台湾記者団が八戸来訪

今年10月9日・10日の2日間、(財)交流協会による「経済貿易記者招聘事業」の一環として、台湾記者団の一行11名が八戸市に訪れました。一行は八戸市の中村市長を表敬訪問したほか、市内各企業、八戸港や東北新幹線開業を控えた八戸駅などを見学・取材し、後日の台湾各紙で八戸市や青森県を数多く紹介していただきました。



## 八戸市産業推進 セミナーを開催

去る10月7日、東京都大手町の経団連会館にて八戸市産業推進セミナーを開催しました。

今回のセミナーは、インフラ整備が進む八戸港の概況や八戸市の優れた企業立地環境を一体的に紹介するため、従来別々に開催されていた港湾セミナーと企業誘致セミナーを合わせたもので、会場には200社以上の首都圏の企業が参加しました。

セミナーでは中村八戸市長の挨拶に引き続き、市産業推進課の大石課長から八戸港の概況や八戸市の企業立地の優位性について説明。八戸港のコンテナ航路を利用した場合や八戸市に企業立地した場合のメリットを訴えました。

また、(株)東洋経済新報社の太田取締役第一編集局長による講演が行われ、東北新幹線八戸駅開業を今年12月1日に控え、陸・海・空のインフラがますます充実する八戸の今後の課題として、「企業誘致合戦が厳しさを増す今、誘致に力を入れるだけでなく、既に立地している企業に対しても行政支援の充実に努めていくことが大切」と強調しました。

来場した参加者からは、現在八戸市が国に要望しているあおりエコタウン構想や総合静脈物流拠点整備計画などに対する質問などがあり、八戸市への注目度が高まっていることがうかがえました。



## 「みなと学習会・ 情報交換会」開催

去る10月4日（金）東海大学校友会館において、暮らしを海と世界に結ぶみなとづくり女性ネットワーク主催による「みなと学習会・情報交換会」が開催されました。

みなとづくり女性ネットワークは各地域の特徴を活かしたみなと実現に向け、それぞれの地域の意見、とりわけ暮らしに関わりの深い女性の意見を採り入れることを目的とし、「みなと」に関心のある女性が集まり、行政機関や企業、市民とパートナーシップをとりながら、みなとについて学習するとともに、女性の視点で魅力ある地域のみなとづくりの推進に貢献しようとするものです。

今回の学習会には港湾関係者・一般から約100名が参加しました。

はじめに国土交通省港湾局長の金澤廣氏から「経済社会の変化に対応し、国際競争力の強化、産業の再生、循環型社会の構築などを通じてよりよい暮らしを実現する港湾政策-みなとまちづくりの推進」と題し、暮らしを支えるみなとの役割、我が国の港湾を取り巻く状況と施策の展開についてご講演いただきました。

また、講演後は各地域のみなとまちづくりの事例発表が行われましたが、八戸港については「はちのへみなとまちづくり市民フォーラム」代表の樫沢孝子氏から「八戸港の現状と将来」と題して発表頂きました。とりわけ、「八戸港からコンテナを利用して八戸ならではの製品である「イカ肝粉」を東南アジアへ輸出し、エビの養殖に使われてそのエビがまた私たちの口に入る」との報告に参加者も大きな関心を寄せていました。



## .....Welcome to Hachinohe.....

### イタリア カターニャ県副知事ら来八

去る10月16日、イタリアにあるカターニャ県のセミナーラ副知事以下、イタリア各地の食材生産者・企業団一行が八戸市を訪れました。一行は北九州市で開かれた西日本国際見本市に参加した後八戸市を訪問。パスタやワイン、オリーブオイルといった地場製品の紹介を通してお互いの友好を深めました。今後のお互いの貿易促進と友好関係の発展が期待されます。



## 米国メイン州訪問団(株)八戸港貿易センターに来社

去る10月9日、本県の友好提携先であるアメリカ合衆国メイン州政府から事務レベル協議団4名、県庁から3名の訪問団が弊社を訪れました。

アメリカ北東部ニュー・イングランド地方の最北東部に位置しているメイン州は人口約123万人、面積は約86,000 km<sup>2</sup>（青森県の約9倍）の州です。本県とは平成6年5月に姉妹都市提携を結び、市町村・民間レベルでの

交流に加え、大学間交流・教育交流など身近なレベルでの交流が進んでいます。

訪問団は、八戸港紹介のビデオを見た後、港全体に関すること・弊社に関することを聞かれました。色々な意見交換の後、屋上に上がり港の風景を見学し最後に記念集合写真を撮影して約1時間を和やかに過ごしました。



右上段から、ダン・ニコル氏、ジャコリン・ベイリー氏、ヒルダ・ニコル氏、島守正典(株)八戸港貿易センター専務取締役。下段リチャード・コイル氏。

### 訪問者

リチャード・コイル氏  
(メイン国際貿易センター所長)

ジャコリン・ベイリー氏  
(メイン国際貿易センター・ルイストン事務所長)

ダン・ニコル氏  
(メイン州・青森県友好交流推進評議会会長)

ヒルダ・ニコル氏  
(日米協会役員)

## 社会科学習見学

去る11月12日(火)、八戸市立青潮小学校5年生120名の生徒達が社会科学習の一環として(株)八戸港貿易センターを訪れました。

生徒達は、国際港としての八戸港における輸出入主要品目・相手国・ポートアイランドの規模・弊社の仕事内容など説明を受けた後、屋上に上がり、八戸港全

体を眺めた際には、「きれいびっくりした」「こんなにきれいな広い港があるとは思わなかった」など新しい発見をしたようでした。約40分間興味を持ってメモや写真を盛んに撮っていました。その後、1階ホールでみんなお弁当を広げ楽しく昼食を取り、社会科学習を終えました。



## 海外物産展のご案内

社団法人青森県物産協会では、県産品の海外販路の開拓・拡大と、県内企業の貿易活動の活発化を目的として、アジア各地で青森県海外物産展「青森ジャパンフェア」を開催しております。

その結果、海外物産展への出展を契機として継続的

な取引に結びついた事例も見られるなど、着実に県内企業の国際展開のお手伝いをして参りました。

平成14年度は、次のとおり開催いたしますので、皆様のご協力をお願いいたします。

主催：社団法人青森県物産協会

お問合せ：青森県商工観光労働部商工政策課 物産・貿易振興室（電話 017-734-9370）

開催地	会期	開催店舗	備考
マレーシア (クアラルンプール)	平成15年1月17日 ～ 1月26日 (10日間)	伊勢丹 クアラルンプール KLCC店	3回目の開催
香港	平成15年1月22日 ～ 2月4日 (14日間)	シティスーパー タイムズスクエア店	7回目の開催
タイ (バンコク)	平成15年1月29日 ～ 2月9日 (12日間)	サイアムジャスコ ラチャダ店	2回目の開催

## 平成14年度「物流効率化推進セミナーinあおもり」開催のお知らせ ～陸・海・空の交通の結節点 八戸市～

日時：平成15年2月18日（火）13：30～16：40  
 場所：八戸パークホテル 1階「マグノリア・ホール」（八戸市吹上1丁目15-90）  
 主催：東北経済産業局、青森県、八戸市、中小企業総合事業団  
 後援：青森県商工会議所連合会、青森県商工会連合会、青森県中小企業団中央会、東北地方総合物流施策推進会議  
 内容：物流効率化施策の紹介等（東北経済産業局）高度化融資要件緩和等の制度説明等（中小企業総合事業団）  
 講演：「管理に役立つ物流コスト算定～物流ABC（Activity Based Costing：活動基準原価計算）の活用～」  
 株式会社日通総合研究所 経営コンサルティング部 SCMグループマネージャー コンサルタント  
 内田明美子氏  
 事例発表：協同組合 八戸総合卸センター 専務理事 佐川達夫氏  
 協同組合 八戸流通センター 専務理事 目澤幸一氏  
 お問い合わせ：青森県八戸市内丸1-1-1 八戸市経済部商工労政課 TEL0178-43-2111（内）218

## 八戸みなとづくり連絡会発足

去る10月21日（月）、国土交通省八戸港湾空港工事事務所、青森県港湾空港課、八戸港管理所、八戸市港湾河川課の4機関で構成される「八戸みなとづくり連絡会」が発足しました。

この連絡会は、八戸港に関する情報を市民に発信し、みなとの役割について理解を深めて頂くとともに、みなとづくりを考える市民やNPO等の活動を支援し、官民の連携と地域主導による「市民連携港湾」の実現を目的とするもので、市民に港湾関係情報誌の提供や海上及び陸上からの港湾見学会、みなとの懇談会開催等の事業を実施し、市民からみなとづくりについての提言や意見を求めていきます。

港湾見学会などに関するご質問は下記連絡先までお問い合わせ下さい。

<連絡先> 八戸みなとづくり連絡会事務局 八戸市建設部港湾河川課 TEL0178-43-2111（内）338 FAX0178-24-6186

# 「中国東北江南部視察レポート」

八戸市産業推進課 参事 高谷勝義

上海外高橋港

去る9月16日から24日までの9日間にかけて、「東北ポートセールス・首都圏セミナー実行委員会」が主催した中国東北・江南部国際物流調査団の一員として、中国貿易の窓口である上海市・寧波市・大連市の港湾物流、投資動向等を視察してきた。

中国各港はここ数年、取扱量が年20～30%増という驚異的な成長を遂げている。

最初に各都市の概要を簡単にご紹介する。

上海市は人口1600万人（うち出稼ぎ者300万人）で、省と同格の行政権限を有する中央直轄市。また、中国の経済、金融、貿易の中心地で北京市と並ぶ中国最大の国際都市である。20階以上の建物が1500棟、30階以上が500棟以上あり夜景が素晴らしく観光都市でもある。上海港は1997年に中央政府が「上海国際航運センター構想」を発表したことから、昨年は世界的な景気低迷の中取扱い633万TEUでロッテルダム港を抜き世界第5位に躍進した。今年は820万TEUと予想されている。上海港は長江河口に4か所に分散しているが、上流からの土砂の堆積のため水深が7mであるため入港制限するなど使い勝手が悪い。今年3月に今後の貨物の伸びと船舶の大型化に対応するため、沖合い30km離れた島に水深15mのコンテナバース50バースを建設して本土と橋梁で結ぶプロジェクトに着手した。全体工事費は1950億円。2010年には1500万TEUを見込んでいる。

寧波市は人口600万人（うち出稼ぎ者70万人）で、古くから貿易港として栄え遣唐使や鑑真和尚が渡来した港。中国最大のイグサの産地。近くには紹興酒の産地の紹興市がある。上海市から高速道路で約5時間。上海での人件費や地価の高騰を避けた企業の進出が急増している。昨年のコンテナ取扱量は121万TEUで中国第7位だが、ここ数年は毎年40%の伸びを続けている。今年は180万TEUを見込む。「上海～寧波海上横断道路（大橋）」が2400億円の事業費で2007年の完成に向け今年着工された。完成すると15時間で結ばれる。

大連市は590万人で歴史的背景から日本とのつながりは深く、日本語を学ぶ人が大勢いる。「北方の珠玉」と称され美しい街並みが見事。中国東北3省と内モンゴルを後背地として国家プロジェクトの国際大水深中継港の建設計画がある。昨年のコンテナ取扱量は120万TEUでこれらの計画推進により2010年には300万TEUを見込む。日本語のパンフレットを用意し企業誘致には積極的。

日本人が経営する飲食店も沢山ある。

各都市とも中央政府が1980年代に重点的国家プロジェクトとして確定した15か所ある経済技術開発区の一つである。それにプラスしてそれぞれの都市が広大な土地（すべてが国有地）を武器にうらや

ましいほどゆとりあるのある施策を展開している。港湾には隣接して保税区、輸出加工区などがあり、多くの優遇措置を前面に打ち出して世界各地から企業を誘致している。

たとえば保税区では、免証は輸出入ライセンスがない企業でも輸出入業務ができる。原材料やオフィス用品の輸入については免税になる。保税は輸入時点で税金がかからず使用時に保税倉庫から出す際に税金を払うことにより節税になるメリットがある。また、輸出加工区では、輸出貨物に対して区外から提供される原材料を区内に搬入時に即輸出関連の税金を返却する。といった具合だ。

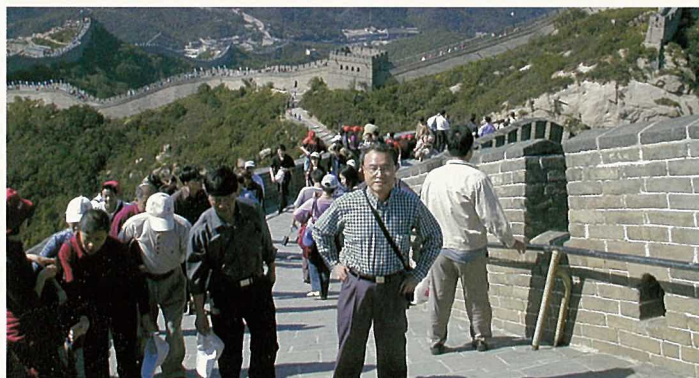
海外の企業が中国国内で事業展開するには、単独立地は認められてはいない。大体は現地の企業との合弁が多いのが実態である。出資割合は50：50で、総経理（社長）を進出企業が出した場合は、副社長は中国側である。進出側のスタッフは規模にもよるが数人の場合が多く、大方は安い労働力が魅力の現地の方々である。

因みに大連市では1999年末までに、累計1310項目、100.38億米ドルの直接投資があり、日本企業もキャノン、東芝、マブチモーターなどが1億米ドルを超える投資をしている。このほかにも韓国企業では、大宇、現代など、米国企業ではファイザー製薬が進出している。

このように過去十数年に及ぶ世界各国からの投資により先進の機械設備と技術が累積的に蓄積された結果、製造業の生産力は着実に増大している。家電産業では、外資にとどまらず純国内企業でも自社ひとつの中でさまざまな品目の生産ができ、さらに上位機種から汎用品まで取りそろえることが可能となるなど技術力、品質の向上は目覚ましいものがある。一般家電品の数量面での生産力は世界最大規模といってよいだろう。

4000年余の歴史を有する中国の総人口は、公称13億人。上海市が1600万人、寧波市・大連市は600万人で仙台市の6倍である。どこでも人・人・人。経済成長率は3都市とも二桁台で、いたるところで建築中の高層ビルを見かける。自転車が多いことを除けば中国にいることを感じさせない。特に上海での若者のファッションは何ら日本と変わらなく、繁華街は深夜まで沢山の人で賑わっている。こういったパワー、潜在力が港湾の大型プロジェクトを推進させる原動力となっているに違いない。

中国はWTOの加盟により今年1月からIT関連、自動車を中心とする耐久消費財の関税の大きな引き下げ、機械・電気製品・農産品などの輸入数量制限の緩和、2008年の北京オリンピック開催関連の需要拡大などますます色々な面から目を離せない存在となっている。



万里の長城にて（筆者）



大連の街並み

# 八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2002年12月現在、海外在住（タコマ、香港、マニラ、シンガポール、ワシントンD.C.）の5名を「八戸市海外経済協力員」に委嘱し、協力員には現地の出来事や経済状況をレポートして頂くことになっています。

八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をして頂けることになっていますので、ご希望の方は八戸市経済部産業推進課（TEL0178-43-2111）までご連絡ください。

## REPORT2

## マニラの紹介

Manila



(株)アンデス・アイオニクス

副社長ゼネラルマネージャー  
細川 進さん



八戸市民の皆様こんにちは。今年の夏はいかがお過ごしでしたでしょうか？ お盆の期間に私事で帰省しておりましたが、連日小雨が降る冴えない天候でした。各報道機関によりますと、今年も異常気象の影響が有る様な事を耳に致します。

さて今回のレポートでは、気象状況や環境の事について記載したいと思います。皆様は台風の大半がフィリピン共和国の南側で発生している事をご存知でしょうか？ 私は学生の頃からあまり勉強をしなかった為に、こちらへ赴任してからわかりました（この場で教育関係者の方へはお詫び致します）。

日本へ多かれ少なかれの被害をもたらしている台風は、当地フィリピンや台湾近郊を北上し沖縄・九州地域を通過し、青森県をも直撃することも度々です。今年6月から7月に、連日豪雨と台風が続き、フィリピン首都マニラや、全土で大きな被害を受けました。身近な所では私達の通勤している車が高速道路で動けなくなり、腰まで雨水に浸かり社用車を押したり、各企業では臨時稼働調整をしたりしておりました。私も赴任生活5年を過ごしましたが、過去の経験ではないくらいの気象状況でした。これも世界各国で発生している異常気象と類似の問題ではないかと私自身思っております。

冒頭で環境のことと言いましたが、前述の様な問題が発生すると当地ではこれ以上に悪臭や土砂崩れ、またスモッキングマウンテンに代表されるようなゴミ処理地域の被害が続発致します。

マニラ近郊のドンド地区では、連日行方不明者やゴミ山の崩壊での死者が現地放送テレビで報道されておりました。私達日本人は滅多に足を運ばない地域のため（私もテレビで見ているだけ）、直接のインパクトはありませんが、同じ首都圏近郊で生活している身近でこんな被害が出ていることを肌で感じ、燃えるゴミと燃えないゴミの区分けや、生ものと電気製品等の不法投棄がいかに重要であるかを勉強させられております。

日本では既にテレビや冷蔵庫等の処分につきまして、消費者責任が明確になっております。また京都議定書に準じた活動が日々行われていることをテレビ・新聞等で見かけます。フィリピンも産業界を中心に対策の検討が進められており、その活動を国自身がバックアップ・法整備を進めております。

特に私達のような特別優遇措置を受けている工業団地で運営している所は、産業廃棄物や化学薬品等の処理手続きも複雑で時間が掛かったり、多額のペナルティーを支払うケースが増加しております。いずれにしても日本人だろうがどこの国の人であろうが、この地球をより長く将来の子供達へ、美しい環境で維持・存続させていくことが私達一人一人のモラルだと感じております。こうしてレポートを提出する時には自分を振り返ってみたり、現実と理想のギャップに直面しながら、どのように人として過ごしていくかを日々勉強させて頂く機会を与えてくれた海外経済協力員制度に感謝し、今回の報告とさせていただきます。

最後にお詫びを申しあげますが、本来ならスモッキングマウンテン等の写真を添付で出来ればと思いましたが、私の時間的問題と危険等の問題で添付出来ないことをお詫び申し上げます。興味のある方はインターネットの検索で何件かの写真を見ることが出来ますので、宜しくお願い申し上げます。

# 八戸港の貿易概況 (2002年1月～9月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階  
日本貿易振興会 (JETRO) 八戸情報デスク TEL 0178-72-1850 FAX 0178-72-1503

## <概況>

輸出の主な品目では有機化学品の紙製品、魚介類が不調であったがフェロニッケル、飼料のイカ肝粉、鉄鋼製品、機械類が大幅増となり輸出総額は前年比111.4%。一方輸入は主な品目別に見るとウッドチップ、ニッケル鉱、木材、ウッドパルプ等が不調であったが其の他の品目がかなりの程度増となり輸入総額は前年比110.9%。コンテナ分取扱についても輸出入金額、通関本数とも堅調であった。

## 1月～9月の貿易額 (単位：千円)

※八戸税関支署発表の貿易統計から抜粋。

### 輸 出

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	6	6,946,718	66.7%	98.7%
フェロニッケル	MT	91,483	13,445,552	109.7%	118.0%
有機化学品	KG	1,137,490	861,417	77.1%	61.7%
紙 製 品	MT	3,860	352,231	75.8%	72.3%
一般機械	MT	2,564	562,724	176.2%	118.8%
鉄鋼製品	MT	26,429	769,375	180.6%	129.1%
飼 料	MT	6,633	362,275	141.7%	141.5%
魚 介 類	MT	4,365	712,137	35.1%	38.7%
亜鉛塊	MT	7,895	791,978	84.8%	76.8%
その他			4,200,888		272.7%
計			29,005,295		11.4%

### ●コンテナ分取扱実績 ( ) 内前年比

輸 出	157億5,189万円 (121.0%)
輸 入	169億1,848万円 (171.2%)

### ●コンテナ貨物通関本数 ( ) 内前年比

輸 出	5,554 TEU (110.5%)
輸 入	7,699 TEU (104.1%)
合 計	合計 13,253 TEU (106.7%)

### 輸 入

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	595,611	9,711,025	93.0%	95.7%
とうもろこし	MT	581,971	8,317,564	102.0%	101.8%
ニッケル鉱	MT	1,848,516	6,461,443	103.3%	83.2%
木 材	CM	94,420	2,171,876	77.2%	74.8%
亜鉛鉱	MT	111,890	2,727,717	106.2%	100.6%
大豆粕	MT	134,814	3,654,521	102.7%	93.7%
魚 介 類	MT	10,021	3,829,362	236.0%	147.6%
飼 料	MT	126,244	1,964,490	106.3%	115.0%
石 炭	MT	643,819	3,031,288	162.6%	170.2%
こうりゃん	MT	160,611	2,328,428	114.8%	116.2%
ウッドパルプ	MT	15,043	780,490	62.2%	55.3%
カオリン	MT	119,631	2,476,168	104.2%	104.7%
肥 料	MT	14,655	347,456	31.2%	24.9%
重 油 等	KL	56,450	1,238,917	96.7%	88.8%
コークス等	MT	62,634	683,680	130.1%	129.0%
鉛 鉱	MT	38,175	1,109,719	115.4%	219.3%
金属製品	MT	3,596	700,908	190.3%	187.3%
その他穀物	MT	21,887	355,046	97.2%	95.4%
糖 蜜	MT	2,669	29,321	45.8%	53.9%
その他			23,992,436		146.7%
計			75,911,855		110.9%

## 5割増を記録した 青森県の2001年の輸出額

日本貿易振興会 (JETRO)  
青森貿易情報センター  
TEL 017-734-2575  
FAX 017-773-2877  
030-0822 青森市中央1-23-5 明治生命青森中央ビル7階

ジェトロ青森では青森県の協力を得て、県内企業の貿易に関しアンケート調査した。

本調査の特徴は、県内企業が県内港を通関する貿易量 (各税関が発表) 以外に、県外港を利用した貿易量も含むことである。青森県の貿易で、輸出のほぼ5割は県外港を利用し、輸入のほぼ9割は八戸港を中心とする県内港を利用している。

2001年の青森県の輸出が57.7%増の844億38百万円、輸入は33%減の1,501億62百万円。総額では123%増の2,346億円。

輸出の増加は機械および電気製品が約13倍の371億16百万円、農水産物がほぼ3倍の116億59百万円となったことが主因である。

この結果、輸出に占めるシェアは機械・電気製品 (43.8%)、フェロニッケルなどの卑金属製品 (23.0%)、農水産物 (13.8%) の順となった。

輸出先は前年14位のフィリピンが1位、2位以下は台湾、韓国、パナマ、北朝鮮の順であった。上位10カ国中8ヶ国は東アジアで占めている。

なお、フィリピンへの輸出は283億76百万円あって1位となったが、このうち、280億円は大手企業の青森進出企業1社による電子部品の輸出であり、これを除くとフィリピンへの輸出は3億円余りである。

輸入先は米国、カナダ、オーストラリア、チリの順であった。

農産物の輸出は急増したが、北朝鮮向け支援米を除くと60億45百万円となるが、これでも前年比5割増と好調を示している。

これはホタテと甲殻類の輸出が中国向けを中心に急増したためである。

りんごの輸出はほぼ前年並みであった。青森県の輸出はりんごで日本全体の輸出の約74%、ほたてで約53%を占めている。





### 輸入住宅セミナーIN八戸開催される

去る平成14年11月29日（金）八戸プラザホテルにおいてJETRO及びAIRA（青森県輸入住宅促進協議会）主催の「輸入住宅セミナーIN八戸」が開催されました。当日は青森県内各地から建築業者を中心に約50名が参加、講師の安田 清氏（ヤスタプロモーション代表）による講演会が、「タイ・中国の輸入住宅部材の現状と活用」と題して行われました。安田氏は講演の中で「輸入住宅は建築住宅市場の中でも今後ますます伸びる市場、その為にもアジアにある生産・物流拠点を上手く活用することがポイント…」と語りました。講演後の質疑応答では参加者から輸入住宅を建築する際や、海外と直接取引をする際の注意点、海外の取引先の開拓方法など実務的な質問が相継ぎました。



### アジア住宅建材ミッション参加者募集

青森県輸入住宅促進協議会では、JETROとの共催にて「東南アジア住宅産業視察ミッション」を企画しております。日程は2003年2月16日（日）～22日（土）の予定でバンコク、上海の住宅建材および資材生産拠点見学・視察を目的として現地を訪ねます。参加希望の方は、AIRA事務局（八戸港貿易センター担当 柴田・坂本）迄お問合せ下さい。詳しい案内をお送り致します。※申込締切日2003年1月10日

### AIRAホームページ完成 <http://www.aira.ne.jp>

AIRAのホームページが開設されました。AIRA会員の紹介ページや、輸入住宅に関する情報満載です。海外の住宅情報入手するためのリンク集もあります。是非ご覧下さい（今までご愛顧頂いておりましたHIIHAホームページは本年をもって閉鎖となります。URLの登録をairane.jpへご変更下さい。お問合せは、mail@airane.jp まで）。

### 新着情報

- （財）製品輸入促進協会（ミプロ）ご自慢の輸入部材 紹介ページができました！  
[www.mipro.or.jp/information/housing01.html](http://www.mipro.or.jp/information/housing01.html)
- 「米国ワシントン住宅産業情報」（2002年秋 第13号）～日本のお客様とワシントン州を結ぶ日本語情報誌  
[www.altanet.or.jp/index\\_j.htm](http://www.altanet.or.jp/index_j.htm)
- 「ワシントン州住宅産業企業案内」～対日輸出経験豊富な73社を掲載。  
（ともに発行：米国ワシントン州政府通商経済開発局）  
[www2.gol.com/users/t/](http://www2.gol.com/users/t/)

### AIRA：青森県輸入住宅促進協議会 事務局

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内  
Tel：0178-72-1505 Fax：0178-72-1503  
<http://www.aira.ne.jp>

カタログ・資料をご希望の方はAIRA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

### ■AIRA会員

会社名	連絡先住所	電話
丸喜株式会社齋藤組	青森市中央二丁目1-17	017-777-3329
株式会社ピアス	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター4階	0178-72-1513
株式会社黄金工務店	青森市道造二丁目10-17	017-741-8451
有限会社ウッドベッカー	八戸市根城字河原13-95	0178-46-4606
株式会社トーリン	むつ市金谷一丁目14-23	0175-22-6333
南部木材株式会社	八戸市吹上二丁目1-13	0178-45-4331
株式会社角弘	青森市新町2-5-1	017-723-2222

Aomori Import Residence Association

<住所は全て青森県内です>

会社名	連絡先住所	電話
株式会社鎌田建設工業	青森市古館安田11-24	017-741-2063
グットワークトレーディング有限公司	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター2F	0178-72-1560
駒井建設株式会社	青森市小柳一丁目19-20	017-741-5167
株式会社テーオー小笠原	青森市東遼道三丁目6-3	017-736-2000
株式会社東北産業	五戸町豊間内地蔵平1-865	0178-61-1100
株式会社ハシモトホーム	八戸市類家四丁目5-2	0178-71-1700
株式会社ファーストインターナショナル	八戸市廿三日町2 YSビル3階	0178-71-2282
有限会社山広産業 住宅部	八戸市一番町一丁目2-22	0178-27-6570

	コンテナ航路	船社名等	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、高雄)、中国(香港、黄浦)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、光陽)、中国(上海、青島) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/2週	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	4
光陽(韓国)	5	9
基隆(台湾)	6	8
高雄(台湾)	7	9
香港(中国)	8	11
大連(中国)	9	8
青島(中国)	7	7
上海(中国)	7	7
天津(中国)	9	8
寧波(中国)	8	8
蛇口(中国)	11	13
シンガポール	13	15
ジャカルタ(インドネシア)	17	22
バンコク(タイ)	17	20
レムチャパン(タイ)	17	17
マニラ(フィリピン)	20	21
ホーチミン(ベトナム)	20	20
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	17
オークランド(ニュージーランド)	25	26
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	30

ナラサキスタックス株式会社 八戸支店の紹介

所在地: 〒039-1161 八戸市河原木海岸 10-4

TEL(0178) 20-1651 FAX(0178) 20-2444

当社は本社が苫小牧市にあり、東京支社を初め札幌、室蘭、八戸に支店を構えて港湾運送事業、一般貨物自動車運送業、倉庫業、通関業、内外航船舶代理店業等港湾に係わる事業を行っております。又、セメント専用船、コンテナ船、ケミカル船等を所有し運航事業並びに航空貨物の取扱い等幅広く事業を展開しております。八戸支店は貨物運送取扱事業、一般貨物自動車運送事業、倉庫業、通関業、内外航船舶代理店業等を主体に輸出入貨物(コンテナ)の取扱いも行っています。

当社は、融雪剤を北海道全土、東北3県へ苫小牧港、室蘭港、八戸港を利用し中国から輸入しており、オーストラリアからは乾牧草の輸入も行っています。ここ数年は輸出入貨物の取扱いに積極的に取り組んでおります。



編集後記

待ちに待った新幹線八戸開業を迎え、こみ上げるパワーに興奮気味の今日この頃です。八戸港も新幹線パワーに負けず、もっとパワフルに前へ前へと進みましょう!!

さて、本ページでもご紹介しましたが、台湾ミッションも盛況に終わり何よりです。ところで、台湾といえば、今回の商談会でも人気商品の長芋。皆さんはどんな食べ方が好きですか? 日本人におなじみの食べ方は「とろろいも」でしょうか...台湾では、煮たり炒めたりとか...イタリア風にオリーブオイルを使って肉や魚と焼くのもおいしいですよ。

本日の私のおやつは薩摩銘菓「かるかん」も長芋でてきています。たまには、いつもと違った食べ方で、新しいおいしさを味わいたいものです。皆さんもいろいろお試しください。

今年も、大変お世話になりました。来年もよろしくお願いたします。

皆様にとってよき新年となりますよう願っております。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

- 八戸通運株式会社(海運営業所) TEL: 0178-29-0202 FAX: 0178-20-3281
- 八戸港湾運送株式会社 TEL: 0178-29-3177 FAX: 0178-29-3119
- 新丸港運株式会社 TEL: 0178-20-2321 FAX: 0178-20-2353
- 八戸運輸倉庫株式会社 TEL: 0178-28-2401 FAX: 0178-28-6976
- 三八五流通株式会社 TEL: 0178-52-7755 FAX: 0178-52-7751
- 日本通運株式会社八戸支店 TEL: 0178-27-3311 FAX: 0178-27-5520
- ナラサキスタックス株式会社八戸支店 TEL: 0178-20-1651 FAX: 0178-20-2444

青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会  
株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市経済部産業推進課内

TEL:0178-43-2111(代表) e-mail: hppc@hi-net.ne.jp Homepage: www.hi-net.ne.jp/hppc



(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp Homepage: www.hptc.co.jp

